

## 宗像市介護人材確保・定着事業補助金実績報告書

令和8年11月20日

(宛先) 宗像市長

[申請者] 所在地：宗像市東郷1-1-1  
法人名：社会福祉法人宗像介護  
代表者職・氏名：代表理事・大島 宗介

担当者氏名：東郷 一郎

電話番号：0940-36-9557

メールアドレス：kakuho@jinzai.munakata.jp

令和8年4月19日付け8宗介第231号で補助金の交付の決定のあった令和8年度宗像市介護人材確保・定着補助事業の実績について、宗像市介護人材確保・定着事業補助金交付要綱第7条の規定により次のとおり報告します。

補助事業の名称	<input checked="" type="radio"/> 介護人材確保事業 <input type="radio"/> 介護人材定着事業 ※該当する事業のどちらかの○を黒塗り(●)又はチェックしてください
交付決定額	300,000 円
補助対象経費精算額	300,000 円
補助事業の対象とした宗像市内の事業所等の名称	・特別養護老人ホーム宗像介護 ・デイサービスセンター宗像介護
補助事業の成果	(1) 各2回の掲載を通じて、WEB媒体での閲覧データ（年齢層・居住地）を収集できた。今回は採用に至らなかった。 (2) ホームページの刷新により月間アクセス数が従来の○倍（約○○PV）に増加。Web経由の応募数が前年比で○件増加し、うち○名の採用に至るなど、効率的な人材確保を実現した。 (3) 事業所説明会に○名が来場し、対面での情報発信を通じて事業所への理解を深めることで、○名の面接希望者を確保した。 (4) 採用特化型コンセプトブックの活用により、現場の魅力を視覚的に訴求した結果、計○名の求職者から関心を得られ、最終的に○名の入職（または面接）に繋げることができた。 (5) 計○名の来場者と面談を行い、うち○名の施設見学や近隣事業所との新たな連携に繋げることができた。 (6) スキマバイトサービスを使用しての短期雇用回数40回（うち、直接雇用への移行人数○人）。 (7) 外部専門家による分析と助言に基づき、自社に最適な採用戦略を策定したことで、応募者数の増加とミスマッチによる早期離職の防止を実現した。
添付書類	・収支報告書（様式第9号） ・補助対象経費の支払いを証する書類（領収書、振込明細書等の写し等） ・補助事業の実施内容（サービス名、数量、単価等）が確認できる書類

## 宗像市介護人材人材確保・定着事業補助金実績報告書 補助事業実施内容

区分	実施内容	事業開始日 ～完了日
(1)	アナログ媒体及びデジタル媒体への事業所情報掲載を通じて、周知を図った。(〇〇求人誌及び〇〇WEB 求人サイト、各2回)。	5/1～6/30
(2)	〇〇デザイン(株)に委託して、HP等の整備及び運用を実施した。	5/1～10/31
(3)	〇〇ホールにて事業所説明会を開催した。	8/2～8/3
(4)	●●株式会社に委託し採用特化型コンセプトブックを制作した。	5/1～11/20
(5)	「介護福祉フェアかすが」への出展、およびブース設営用備品(テーブルクロス)の整備を行った。	9/1
(6)	スキマバイトサービスを使用して短期の職員を雇用した。	5/1～9/30
(7)	〇〇株式会社へコンサルティング業務を委託し、事業所に適した人材確保策を検討した。	8/1～10/31

※事業ごとに実施場所、委託先などできるだけ具体的に記載してください。それぞれ事業開始と完了日は必須です。

※実施内容に合わせ、行の縦幅を調整してください。